

小旅行速報 朝倉遺跡と光教寺参拝

2017年7月20日(木) 吉岡記



光教寺

伝承によると 717 年泰澄が滝の上流に滝水山浄教寺を開山し白山大権現を祀った。1716 寺岡宗映が、夢告による光に導かれ、小鷲谷の岩間から古箱に入った阿弥陀如来の木像と絵像を見つけたことから光教寺と改称された。

1932 年、本堂再建 (第 13 代寺岡孝照)。1970 年第 14 代寺岡龍舎、本堂再建落成法要。1989 年真如堂建立、1997 年第 15 代寺岡弘文住職継職法要。2002 年四幅の御影の修復。

当会顧問、光教寺住職寺岡弘文氏が、光教寺の歴史と、四幅の御影をご説明



豪華な

朝倉善の昼食

黒豆ごはん、ごまころ、ゼンマイの白和え、あえませ、麩の辛子添え、しのだ巻、でんがく、水ぶきとにしんの炊き合わせ、呉汁、手打ちそば、てんぷら、佃煮、おはけ漬け、お菓子、お土産

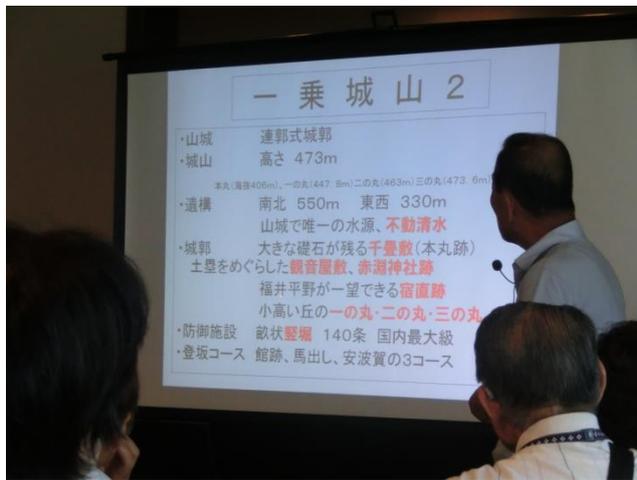




小坂氏による 朝倉遺跡の解説

一乗谷城（山城）と山麓の城下町（朝倉氏および家臣の居館）からなる。戦国大名朝倉氏の最盛期には、一乗谷は3万人が住む城下町だったが、織田信長に滅ぼされ、焼き尽くされた。朝倉遺跡は、日本のポンペイといえる。

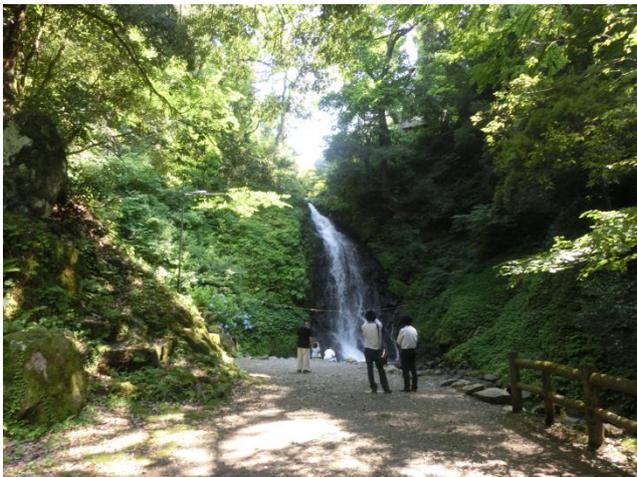
1967年から始まった発掘調査で、当主館や侍屋敷、寺院、職人や商人の町屋、庭園から道路に至るまで、戦国時代の町並みがほぼ完全な姿で発掘された。遺跡からは約5,000基の遺構が検出され、160万点を超える遺物が出土している。



一条滝

滝の上流には白山大権現を祀った浄教寺があった。

1776年に編纂された『二天記』では、佐々木小次郎の生まれは越前国宇坂庄浄教寺村（現福井市浄教寺町）と記されており、秘剣「燕返し」はこの滝で身につけたとされている。



炎天下 一乗滝で しばし涼
澤村 玲子

滝つぼに

暑い空気が 吸い込まれ
吉岡 芳夫